

平成22年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費  
5項 水産業費  
2目 水産業振興費

水産課(内線:7309)  
(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
栽培漁業地域支援対策事業	9,749	9,510	239				9,749	
トータルコスト	11,363千円 (前年度 11,167千円) [正職員:0.2人]							
主な業務内容	種苗放流・養殖のため種苗を購入する漁協等への補助金交付							
工程表の政策目標(指標)	漁場資源の増産、資源の効率的な利用(実用化対象魚種:8魚種)							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

沿岸漁業振興ビジョンにおいて、燃油高騰に耐える漁業経営体質の転換として「近場漁場の有望資源の増産」を掲げている。この事業では、地域栽培漁業の促進と自立化を目的として、漁協等が購入する放流用種苗費用の一部を支援し、有用水産資源の確保・増産を図る。

2 主な事業内容

種苗放流、養殖を行う漁協等が、(財)鳥取県栽培漁業協会から購入する種苗について、県が購入費の一部を支援する。

(1) 補助対象種及び補助率

- アワビ、サザエ、イワガキ、ワカメ・・・補助率1/2以内
- カサゴ(中間育成)・・・補助率2/3以内
- バイ・・・補助率3/4以内【新規】

※バイは放流技術開発が終わり、各地区の適正な放流数量、場所等の違いによる放流効果を検証するための事業化検討段階にある。回収率が明らかとなっていないなど大きなリスクを抱えてのチャレンジであることから、補助率を3/4以内とする。

(2) 事業主体

漁協、市町村、養殖種苗にあつては、漁協、個人、養殖業者

(3) 種苗別販売価格等

種苗・種糸	種苗、種糸の単価(円)		
	販売単価	県補助金	受益者負担
アワビ種苗(30mm相当)	70.4	32.6	37.8
サザエ種苗(9mm相当)	22.05	9.975	12.075
カサゴ中間育成(80mm相当)	73.8	40.6	33.2
ヒラメ種苗(80mm相当)	228.0	144.0	84.0
ワカメ種糸	196.0	98.0	98.0
イワガキ種苗(10mm・10個入相当)	226.0	113.0	113.0
バイ種苗	21.0	15.75	5.25

3 これまでの取組状況、改善点

【指標】栽培漁業の実用化対象魚種を8魚種(目標年度:H26)

→【現状】6魚種(平成22年度からバイを追加)

- アワビ、サザエ、イワガキ、クルマエビ、カサゴ、ヒラメ、ワカメ、イワガキについては、技術開発や放流効果の検証を終え、現在、事業化の実証段階
- 「第5次栽培漁業基本計画」(H17~H21)等に基づき、バイ、キジハタ等の種苗生産技術、放流技術を開発中
- バイについては、平成21年度に放流技術開発を終え、平成22年度からは放流効果の検証など事業化に向けた検討を進め、栽培漁業を促進